

# 令和4年度 指定管理施設評価票

## 1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立精神障害者支援センター						
指定管理者	港福・大星グループ（社会福祉法人港福会・大星ビル管理株式会社）						
指定期間	令和 3 年 6 月 1 日 ~ 令和 13 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

## 2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	15	15	0	10	1	9	0	25
		令和3年	令和4年					備考
正規・非正規職員の退職者数		3	1					

## 3 指定期間における事業実績

事業実績	令和3年度	令和4年度				備考
地域活動支援センター登録者数	415	437				
就労継続支援契約者数	17	28				
短期入所契約者数	9	20				

## 4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
経費実績	収入	163,261,840	225,842,893	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	153,206,186	197,442,588				
	利用料金収入	10,047,154	28,277,635				
	その他収入	8,500	122,670				
	支出	158,355,059	204,233,822	0	0	0	
	職員人件費	104,289,136	134,276,727				
	光熱水費	2,561,530	4,556,721				
	修繕費	270,600	1,087,680				
	事業運営費	17,384,000	20,679,000				
	施設管理経費	18,085,643	24,802,138				
	その他経費	15,764,150	18,831,556				
	差引収支額	4,906,781	21,609,071	0	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	194,966,460	228,370,152				

## 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者へ声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	3 / 5	×1	3 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	6 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					80 / 100

### 【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	<p>文書管理規程を整え、ガバナンスを強化した。また、今年度半ばから、週一回の主任会を開催することにより、情報共有、意思統一を向上させた。コロナ禍が落ち着いてきて活動が正常化する中で、主催企画としてのあいはーと・まつりや音楽会等を開催し、地域の行事にも積極的に参加することで、地域への精神障害者への理解を広めることができた。</p> <p>内部での情報共有については、研修や主任会を通じて職員に向けて教育してきたところではあるが、現場での対応に気を取られて報告が遅れることがあったので、更に教育を行っていく必要性を感じている。</p> <p>施設維持管理については、改築後間もない施設を安全に維持するため、共同事業体が一体となり情報交換をし、早急な修繕等に努めてきた。</p>
区（施設所管課）による評価	<p>文書管理の他に情報システムや支援方法等についても内部研修を積極的に実施しており、各職員のスキルアップに積極的に取り組んでいました。</p> <p>情報共有の場として、施設長と各事業の管理者で構成される主任会を設けたことにより、各事業の管理者があいはーと・みなとの統一的な課題をより一層認識でき、改善に向けて取り組んでいくことができていました。</p> <p>施設の保守・維持管理については、機器の異変やトラブルにも早急に対応できており、利用者や職員等が安全安心に利用できる施設として管理運営できています。</p> <p>一方で、各事業での連携不足や日常の情報共有不足による連絡の遅れや伝達の不備等も一部見受けられたため、今後も研修や事業をまたいだ係員レベルを含めた職員ミーティング等の実施により、円滑な施設運営と利用者へのサービス向上に努めていきたい。</p>

## 6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

A

### 【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）